

なないろ

川口市立戸塚中学校

46期2学年通信 No.33

令和6年6月11日(火)

言葉づかいは心使いから

46期のみなさんと授業が始まって1か月以上が経ちました。
「46期って先生に対する言葉づかいができてないよなあ……。」
そんな風に思うことが何度かありました。

先生に相談したところ、

「友達に対しても結構きつい言葉使ったりするのを聞いたこと
ありますよ。」と。

たしかに、先生に対してだけでなく、友達間でもそういう言葉を聞いたことがあります。

前に一度だけ、注意したことがあったかな？傍にいた人しか聞いてないかもしれませんが、小学校では、ある言葉があいさつのように使われていたと聞き、少し悲しくなりました。

でも、1か月以上一緒に過ごしてきたので少しだけわかってきました。
君たちは“誰かを傷つけないで、汚い言葉を使っているのではない”ということ。

「仲の良い友達同志だからとか」、「〇〇先生と仲良くなりたいから」とかそういう思いで少し、くだけた表現を使っているんだと思います。くだけた表現の中には汚い言葉も含まれます。

そして、その言葉には言葉の意味のままの思いはこもっていません、言葉にした瞬間に相手に伝わります。相手に伝わるということは、相手がどういう思いで受け取るかわかりません。

こちら側の思い = 相手側の思い がいつでも成立するとは限らないのです。

伝わってしまっただけでは取り返しがつかなくなることもあるのです。

さあ、ここからが考える時間。楽しくなるためには、そういった表現に頼るべきかどうか。

あとは、あなたたちにお任せします。答えは、今後の行動で教えてください。

いつか「46期は言葉づかいが素敵な学年だね。」と言われたいなあ。

そして、

「最初から素敵な学年だったわけじゃない。彼らたちが考えて変えたんです。」

と答えたい。

言葉づかいは
心の表現
その人の
品格と態度を
示す